

<http://d.hatena.ne.jp/shibainu55/20090917/1253453342>

方法 1

\$HOME/.pgpass ファイルの使用

実行したいユーザの HOME ディレクトリに、.pgpass ファイルを作成する。セキュリティを考慮し、ファイル権限は 600 とする。

```
$ vi ~/.pgpass  
$ chmod 600 ~/.pgpass
```

.pgpass ファイルの書式は以下の通り。複数定義したい場合はこの書式で複数行記述するだけ。

DB サーバホスト名 : 接続ポート番号 : DB 名 : DB ロール名 : パスワード

※注意、特定バージョンまでは \$HOME 環境変数を参照するので、cron に設定する場合は \$HOME にも気をつけること！

方法 2

PGPASSWD 環境変数の設定

環境変数の設定はディストリビューションにより異なるので注意すること。vi で ~/.bash_profile、またはそこから読み込まれる ~/.bashrc にて、以下の内容を設定する。この場合も、上記の方式同じようにファイルのパーミッションは 600 とするのがよさそう。

```
export PGPASSWD=パスワード
```